

広報ふたば



謹賀新年

【表紙写真】新しい年を迎える 願いを込めた双葉ダルマ



ふるさとと双葉町を未来に繋ぐ



令和6年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から3月11日で13年を迎えます。双葉町は、全町避難から11年5カ月となる一昨年の8月30日に旧特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、住民帰還が始まり1年4カ月が経過しました。自宅に戻られた方、駅西住宅に入居された方、民間アパートに住まれている方、新たに自宅を再建された方など約100人がそれぞれ町内で生活しております。

駅西側に整備を進めている災害公営住宅、再生賃貸住宅については、建設が遅れていたロータリー南エリア47戸についても本年5月末には全てが完成する予定です。駅西住宅内に昨年2月に開業した双葉町診療所では、週3日の診療をはじめ予防接種等が行われており、オンラインで薬剤師の

服薬指導を受け、宅配で薬を受け取るサービス等の服薬指導実証事業も始まりました。昨年を振り返りますと、8月に産業交流センター内にコンビニエンスストアのファミリーマート産業交流センターS（サテライト）店がオープンし、町内での買い物環境の利便性が高まりました。

また、町内の安全・安心につながる防災活動に大きく寄与する双葉町消防団第1分団、第2分団の新しい消防屯所が落成しました。

さらに、中野地区復興産業拠点に進出したアパレルメーカーであるフレックスジャパン株式会社「ひなた工房双葉」が落成し、営業を始めました。

10月には、不動産業の大和ライフネクス株式会社と企業立地協定を締結しました。大和ライフネクス株式会社は、経済産業省の自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金を活用して、双葉町にカンファレンスホテルを建設します。令和7年度に開業する予定であり、交流人口の拡大につながることから、双葉町の復興にさらに弾みがつくものと大きな期待を寄せております。

12月には矢吹町に本社がある食品製造販売の東日本ロハス株式会社と企業立地協定を締結しました。中野地区復興産業拠点内に立地する企業については現在22件26社との立地協定を締結しており、拠点内には企業の建物が立ち並んできております。

町内の帰還困難区域については、国において、将来的に帰還困難区域の全てを避難指示解除し、町の復興・再生に責任を持つて取り組むこととしております。一昨年に

国と共同で行った帰還意向調査の結果を踏まえ、特定帰還居住区域復興再生計画が昨年9月に認定され、12月には先行分である下長塚行政区、三字行政区の一部で除染が開始されました。先行分以外の地区においても帰還意向調査の結果を踏まえて、今後特定帰還居住区域を拡大し、全域の除染解除が実現されるまで粘り強く要望を継続してまいります。

避難指示が解除された旧特定復興再生拠点区域内の除染後農地は、営農再開を前提に6地区で保全管理が行われておりますが、国の補助金による保全管理事業は令和6年度で終了することから、令和7年度から営農再開できるように各地区での地域計画の策定に取り組んでまいります。

町立学校の町内での再開については、昨年5月に双葉町学校設置検討委員会を立ち上げ、有識者や町立学校代表者などでさまざまな角度から議論を深めており、今年度中には基本構想が決まる予定です。

町民の皆さまの生活を支える各種支援策の継続・拡充や原子力損害賠償についても今後も粘り強く国等に要請していく所存です。

昨年10月に、一般社団法人ふたばプロジェクトに委託している町内の戸別巡回業務において、町民の皆さまに不安を与える不適切な事案が発生し、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後このようなことが起きないように指導を徹底してまいります。

結びに、本年も復興まちづくり計画（第三次）に基づき、町民の皆さまの帰還に向けた生活環境の整備と移住等を促進する一

方、交流人口の拡大を図るため議会と連携しながら職員とともに町の復旧・復興、並びに町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業に精力的に取り組み、ふるさと双葉町を未来に繋いでいくために復興まちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

寒さの厳しき折、町民の皆さまには健康に留意され、本年が良き年となりますようご祈念申し上げます。

双葉町長 伊澤 史朗



副町長 徳永 修宏



副町長 平岩 邦弘



教育長 館下 明夫

勇往邁進

令和6年の新春を迎え、議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から13年の月日が経過しようとしておりますが、多くの町民の皆さまにおかれましては、故郷を離れ今なお厳しい避難生活を強いられていることと存じます。また、避難指示が解除された区域の生活環境もまだ充足しているとは言いがたい状況であり、この状況を少しでも改善できるよう取り組むとともに、町内での生活が可能になるまで発災から11年以上を要した当町の特殊事情を踏まえ、町内の生活環境整備や町民の皆さまを支える各種生活支援策などについて復興を成

し遂げるまでご支援いただけるよう、議会として国・関係機関にしっかりと働きかけてまいります。

昨年の9月29日には、下長塚行政区・三字行政区の一部を対象とした双葉町特定帰還居住区域復興再生計画が内閣総理大臣の認定を受けました。国は、2020年代をかりて帰還を希望する人が帰還できるよう取り組みを進めるとしておりますが、残る地域を対象とした特定帰還居住区域復興再生計画の認定と当該区域内の速やかな除染・解体・インフラ整備等と並行して、帰還困難区域全域の避難指示解除に向けた取組方針を早急に明らかにするよう国に強く求めてまいります。

また、昨年10月8日には、福島県立双葉高校創立百年記念式典が双葉町産業交流センターで開催されました。双葉高校は「文教のまち・双葉町」を象徴する学校でもあり、硬式野球部の3度となる夏の甲子園出場の際には町をあげて応援した日々が思い出されます。双葉高校の校章の由来でもあり、現在いわき市錦町にある町立学校の仮設校舎にも掲げられている「梅檀は双葉より芳し」のこころわざにあるように、大成し双葉町から大きく羽ばたく人材を育成するためにも子どもたちが元気に学校に通う姿が町に戻るように、町

執行部と一丸となって復興に取り組む決意を新たにしました。
町が歩んできた70年以上の歴史が数年ですべて元通りとはいかないかもしれませんが、先人たちが町の礎を築くまでの道のりも数々の困難があったと推察されます。粘り強く目標に向かってまい進し、鯉が竜門を登って龍になったように山積する課題を乗り越えていけるよう一歩一歩着実に歩みを進めてまいりたいと存じます。
新たな決意をもって、本年も町民の皆さまの負託とご期待に添うべく、復興・ふるさと再生、そして新たなまちづくりに向け執行部と連携を図りながら、議員一丸となって懸命に努力してまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
結びに、今年も更に前進する年となりますように、今後も魅力あふれ希望の持てるまちづくり、そして町民の皆さまの生活支援等に全力を傾注し、議会としての責務を全うすることをお誓い申し上げますとともに、町民の皆さまお一人おひとりが健康で希望に満ちた良き年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年の挨拶いたします。

双葉町議会議長 伊藤 哲雄



双葉町議会

- 議長 伊藤 哲雄
- 副議長 高萩 文孝
- 議員 岩本 久人
- 菅野 博紀
- 石田 信翼
- 作本 信一
- 小川 貴永
- 山根 辰洋

今年 は 辰年



今年の干支は「辰」。
辰年生まれの方々に、今年の抱負や
ふるさとへの思いなどを寄せて
いただきました。

ぼくは白河第二小学校に通っています。震災の翌年に産まれた辰年です。原子力発電所の事故で被災した母が、大変な思いでぼくを産み、双葉町の初発神社の宮司から芳稀という名前をもらった



岩本 芳稀さん（長塚二）

今年の抱負は、習い事のバスケで地区大会を優勝して県大会に出場することです。



赤石澤 永翔さん（長塚二）

去年は、夏と冬どちらの大会も初戦で敗退してしまつて1回も県大会に出場することができませんでした。今年4月から6年生になり、今年でミニバスは終わりになるので、一生懸命練習してずっと一緒にプレイしてきた仲間と共に地区大会を優勝して、みんなで県大会に出場したいです。

と聞いています。ぼくは、この名前が大変気に入っています。そんな僕が今年頑張りたいことは、昨年から始めたバスケットボールです。多くの仲間と共に勝利を目指して練習に取り組んでいます。チームプレイを通して、勝敗だけでなく仲間を思いやり信じることを、転んでも起き上がる勇氣を持つことなどたくさん学びたいです。今年、辰のように天高く、勝利を目指してバスケットボールを頑張りたいと思います。

私は小さな頃から体を動かして運動するのが好きで、幼稚園から体操を習っています。今ではバク転ができるようになりました。今までどんなに難しい技でもあきらめずに練習をする

去年は、夏と冬どちらの大会も初戦で敗退してしまつて1回も県大会に出場することができませんでした。今年4月から6年生になり、今年でミニバスは終わりになるので、一生懸命練習してずっと一緒にプレイしてきた仲間と共に地区大会を優勝して、みんなで県大会に出場したいです。

僕の新年の抱負は、中学校へ行っても勉強をがんばることに決めます。僕は社会が好きです。中学校では、社会は地理、歴史、公民となり、詳しく学ぶことがのできるの、とても楽しみです。



志賀 太珂さん（下条）

私は震災の次の年に生まれました。悲しいことが多い中、私が生まれて明るい話題に家族みんなが喜んでくれたそうです。私は双葉町に住んだことではないけれど、いつか私も双葉町に住んでみたいと思います。



小林 詩乃さん（三字）

です。算数は苦手なのですが、自主勉強もして、あきらめなげでがんばりたいです。中学校は、部活動もあり毎日練習を大切に、バドミントンをはりたいたいです。また、僕は双葉南小学校に通っている、双葉町について勉強する機会が多くあります。先日、「ふるさと創造学サミット」に参加し、「20年後の双葉を考える」というテーマで、町に必要なものを考えました。たくさん施設のできて、安心、安全で楽しく暮らせる双葉町になってほしいです。

できるようになりました。来年は中学生になります。私は新しくチャレンジしたい事があります。それはスポーツクライミングです。前からずっと楽しそうだなと思っていました。たくさん練習をして、上手になりたいです。

私は震災の次の年に生まれました。悲しいことが多い中、私が生まれて明るい話題に家族みんなが喜んでくれたそうです。私は双葉町に住んだことではないけれど、いつか私も双葉町に住んでみたいと思います。

です。算数は苦手なのですが、自主勉強もして、あきらめなげでがんばりたいです。中学校は、部活動もあり毎日練習を大切に、バドミントンをはりたいたいです。また、僕は双葉南小学校に通っている、双葉町について勉強する機会が多くあります。先日、「ふるさと創造学サミット」に参加し、「20年後の双葉を考える」というテーマで、町に必要なものを考えました。たくさん施設のできて、安心、安全で楽しく暮らせる双葉町になってほしいです。

三瓶 雅人さん（下条）



今年4回目の年男を迎えました。現在双葉にいた頃のように両親と共に富山県にて飲食店を開業し、9年目を迎えました。食文化や好みの違いに戸惑いもありましたが、地元の方にも支え

られ毎日多くの方に利用していただいています。

震災当時家族や友人家族と共に20数人で、常葉、新潟、そして富山と移動してきました。不安であつた避難生活も一緒に過ごしてくれた人達のおかげで心強い事ができました。

早朝ソフトボールや町民体育祭等いつも楽しみにしていた行事等が無くなり、寂しさも大きいですが町の復興もさらに加速し、いつか色々な事が再開することを願ひ、私自身も双葉と富山との交流の際に貢献する事ができたらなと思います。

山根 麻衣子さん（長塚一）



震災後ご縁があつて平成26年9月に横浜市から浜通りに移住し、約1年半、双葉町復興支援員として働きました。町の避難指示解除後、「双葉で暮らしてみたいな」という思いが芽生え、昨年4月から駅西住宅に暮らしています。今年で移

住してちょうど10年となり、現在は浜通り全域で取材を行うローカルライターとして活動しています。昨年7月に「双葉町結ぶ会」という自主組織を、住民の皆さんで立ち上げました。駅西住宅だけでなく、今双葉町に暮らす人たちみんなをつなぐため、夏祭りや芋煮会を行い、出身者も移住者も混ざり合つて、新しいご近所関係をつくり始めています。

今年さらには、双葉に暮らす皆さんと楽しく過ごせるように、そしてふるさと双葉を大切に思う皆さんに「今の双葉も楽しそうだな」と思ってもらえるように、暮らしていければと思っています。

鶴島 伸予さん（長塚一）



今年は、震災と原発事故からの復興半ばの故郷への深い思いと、健康への配慮が抱負です。

まず、復興へと向かいはじめている双葉町を定期的に訪問し、町への帰還や帰還を検討している友人、知人との絆を深めるとともに、故郷の美しい風景や伝統文化を再発見したいと考えています。

また、健康については運動とバランスの取れた食事を心がけ、ストレスを積極的に解消することで、心身の健康を保ち、充実した一年にしたいと願っています。また昨年は金婚式を迎え、50年は早いなと思ひ夫婦共々、仲良く生活したいと思っています。

矢口 ちゑ子さん（下条）



気が付けば6度目の辰年を迎える事となりました。60歳で震災に遭い知人が経営する墨田区押上の接骨院で一年お世話になり、翌年3月、いわき市でがんばる接骨院

という名称で仕事を再開しました。親戚も知人もいない地でしたが、市内に避難生活を送る元患者さんやそうでない方々も懐かしうと言つては足を運んでくださいました。勿来の仮設住宅にはハイエースで送迎し、親と再会したような喜びを感じたものです。思えば12年間多くの方々に支えられ感謝しかありません。家族にも感謝です。現在仕事は楽しいし、孫の成長ももう少し見ていたい欲もあります。

今後は今まで多くの方々から受けた恩を、仕事を通してお返しする生き方をしたいと思っています。

都市計画協会会長賞特別賞を受賞

11月16日、けんしん郡山文化センターにおいて開催された第75回都市計画全国大会（公益財団法人 都市計画協会主催）において、双葉町が第38回都市計画協会会長賞の特別賞を受賞し、伊澤史朗町長が表彰式に出席しました。

震災と原発事故による長期にわたる全町避難から復興に向けた「中野地区一団地の復興拠点市街地形成」並びに「双葉駅西側地区一団地の復興再生市街地形成」における双葉町のまちづくりへの取り組みが評価されたものです。



郵送請求キャッシュレスサービスの開始

12月1日、双葉町役場において富士フイルムシステムサービス株式会社と、「郵送請求キャッシュレスサービス」開始に伴う調印式が行われました。伊澤町長は、利用申込書に調印するとともに、「町外の避難先から証明書を郵送請求する双葉町民の利便性の向上につながると期待しています」とあいさつしました。



戸籍税務課からのお知らせ

戸籍の証明書・住民票等（税証明は、除く）の郵送請求の手数料の支払いは、定額小為替に加えてクレジットカードでも決済ができるようになりました。

郵送請求に必要な書類は、今までどおり役場へ郵送してください。サービスをはじめて利用するには新規登録（利用者情報の登録）が必要です。

詳しくは、町ホームページでご確認ください。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 戸籍係 ☎0240-33-0132

東日本ロハス株式会社と企業立地協定を締結

12月13日、双葉町役場において東日本ロハス株式会社と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結しました。

東日本ロハス株式会社

- 所在地（本社）… 福島県西白河郡矢吹町本町157番地2階
- 設立… 令和3年8月
- 代表者… 代表取締役 和田 衛
- 事業… 無添加うす焼き海産物煎餅製造販売、ノンフライバナナチップス製造販売、植物由来の香料・精油製造販売、魚由来のコラーゲンペプチド製造販売



駅西住宅が今年の5月末に全戸完成します！

令和4年10月から順次入居がはじまった公営住宅「駅西住宅」。
今年の5月末に南エリアの住宅・軒下パティオが竣工し、全86戸が完成を迎えます。



路地と縁側



軒下パティオ
集会所



住宅はタウンハウスと戸建の2種類があり、趣味や好きなことを分かち合える「土間玄関」やご近所さんとのおしゃべりができる「縁側」がもうけられています。



土間玄関(タウンハウス)



縁側(上:戸建、下:タウンハウス)

最新情報を webサイトで更新中です

住宅の写真や間取り等の情報、
現在の工事の進捗、最新ニュースなど
駅西住宅での活動は

検索 えきにし住宅 で更新しています。

募集に関する情報にも
アクセス可能です。



駅西住宅で
双葉町の暮らしを
はじめませんか？

1月から追加募集が始まります

【申込期間：1/9(火)~2/29(木)・6月入居開始予定】

申込方法：「駅西住宅入居申込書」に必要事項を記入のうえ、郵送、メール、持参のいずれかで提出してください。(郵送は期限日必着)

- ・申込条件があります。募集要項を確認のうえ、申込をしてください。
- ・募集要項、駅西住宅入居申込書は町ホームページ/駅西住宅webサイトからダウンロードするか、総務課に請求してください。
- ・申込先の住戸が競合した場合は抽選となります。抽選会後に空き住戸があれば、当選できなかった方に優先的にご案内します。

	タウンハウス	戸建
災害公営住宅 (町民向け)	3戸	5戸
再生賃貸住宅 (町民以外も入居可)	19戸	6戸

一部の戸建住居は
ペットの飼養も可能です



間取り例
戸建 1LDK



えきにし住宅webサイト
<https://restart-futaba.com/>

問い合わせ先
総務課 (☎0240-33-0124)

第4回双葉町議会定例会

12月5日招集の令和5年第4回双葉町議会定例会で、伊澤史朗町長が行政報告を行いました。その内容をお知らせします。



行政報告



9月定例会以降の行政報告

―市町村対抗軟式野球大会―

9月9日、郡山市の開成山球場において、「第17回市町村対抗福島県軟式野球大会」が開催されました。双葉町チームは、初戦で南会津町チームと対戦しましたが惜しくも敗れてしまいました。前日

までの台風の影響が懸念されましたが、避難先から選手たちが集まり、大きな声を掛け合い、精一杯プレーされている姿にスタンドからもたくさんの方の応援と拍手が送られていました。

―敬老会―

9月15日、いわき市植田町の「八幡台やまたまや」において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催を休止しておりました「双葉町敬老会」を4年ぶりに開催し、県内外から約130名の方々に参加いただきました。式典では4組の金婚夫婦に福島民報社から表彰状と記念品が贈られました。

式典後には、行政区ごとにテーブルに分かれて昼食交流会が行われ、久々の再会を喜び合っていました。また、アトラクションでは、当町出身の大川義秋さんによる琴の演奏ステージが披露され、出席

された皆さんは、幻想的な琴の音色に瞳を閉じて聴き入っていました。



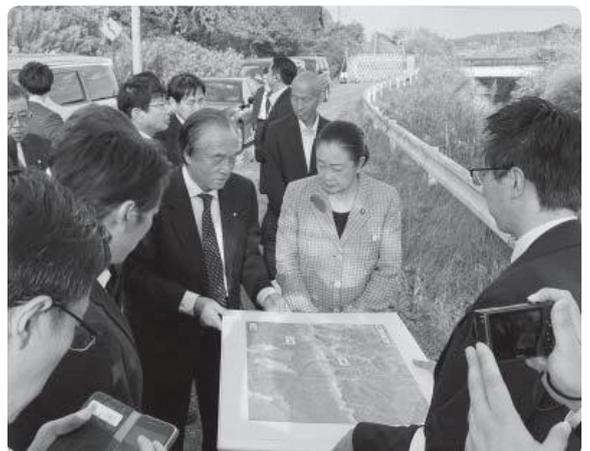
―復興大臣町内視察―

9月21日、土屋品子復興大臣が高木宏壽副大臣、平木大作副大臣とともに就任あいさつのため来町され、また、10月11日にはJ.R双葉駅西側の町営住宅や鴻草・三行政区などの帰還困難区域を視察されました。町からは、残る帰還困難区域の避難指示解除を実現するため、特定帰還居住区域のインフラ整備に必要な支援や第二期復興・創生期間以降の財政支援など十分かつきめ細やかな支援を強く要望しました。

―双葉町特定帰還居住区域復興再生計画―

復興再生計画

9月29日、今年6月に福島復興再生特別措置法が改正されたことに伴い、特定復興再生拠点区域外に帰還意向のある住民が帰還できるよう、「双葉町特定帰還居住区域復興再生計画」について、内閣総理大臣の認定を受けました。今回の計画では、残る帰還困難区域の他の地域に先駆けて先行除染を行う地区として下長塚行政区、三行政区の一部を対象としており、当該区域における速やかな除染、家屋解体を始め、上下水道等のインフラ復旧など、1日も早い避難指示解除に向けて取り組んでまいります。



―ふたばスポーツ
フェスティバル2023―

9月30日、東日本大震災・原子力災害伝承館の芝生広場において、「ふたばスポーツフェスティバル2023」が4年ぶりに開催されました。震災後初となる町内での開催に、避難先から参加された町民や、町内へ移住された町民など約130名が参加し、全員で体を動かし、スポーツを通じた交流を深めることができました。今回のスポーツフェスティバル開催にあたって、ご尽力いただいた双葉町スポーツ推進委員会を中心とした「絆スポレクふたば実行委員会」の皆さんに改めて感謝申し上げます。

―産業交流センター
3周年記念イベント―

10月1日、双葉町産業交流センターにおいて、開館3周年記念イベント「双葉町ストリートパフォーマンススフェス」が行われ、ステージでは全国からパフォーマーが集結し大道芸や音楽・ダンスなどが披露されたほか、町内外の事業者による物販や飲食店の出店もあり終日賑わいを見せていました。

―ふたばワールド2023 in 大熊―

10月7日、双葉郡8町村の芸能や物産が楽しめるイベント「ふたばワールド2023 in 大熊」が大熊町において開催されました。会場では、町内事業者の方たちも出店した郡内の物販・飲食のコーナー「ふたばふるさとマルシェ」や「大鍋のふるまい」などのブースが設けられ、また特設ステージにおいては各町村の芸能発表などが行われ、双葉町からは「標葉せんだん太鼓保存会」、「JAふたばスマイル大正琴」が出演し、会場を盛り上げました。各ブースとも多くの人で賑わいを見せていました。

―町政懇談会―



10月12日から10月25日まで福島県内外11会場において「町政懇談会」を開催いたしました。合計11回開催し、158名の町民の皆さんにご出席いただきました。

今回の町政懇談会では、まず私からあいさつの中で町の復興に関する取り組み状況について報告した後、各担当課長から特定帰還居住区域復興再生計画や令和6年度町税の課税の方向性などについて説明を行い、町民の皆さんからご質問やご要望、ご意見をいただきました。町政懇談会で出されたご意見等は、町議会等で内容を報告するとともに、今後の町政運営に生かしてまいります。

―消防団検閲式―

10月21日、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故後初めて、町内において、「令和5年双葉町消防団秋季検閲式」が開催されました。渡辺浩美団長以下、県内外の避難先から約40名の消防団員が式に臨み、石橋清則技術分団長の号令のもと、閲団、通常点検などを行いました。地域の安全安心を守るため、自らの規律保持と士気高揚を図る消防団の姿を目の当たりにし、大変頼もしく感じたところです。

昨年8月に特定復興再生拠点区

域の避難指示が解除され、住民帰還・居住に当たり、地域の防災力強化が重要となることから、引き続き、関係機関と連携して消防力の向上に取り組んでまいります。



―町立学校梅檀祭―

10月21日、双葉町立幼稚園、小・中学校による合同文化祭「梅檀祭」が、町立学校体育館において、来賓と多くの保護者の方々の来場により開催されました。園児・小学生による劇や演奏、

中学生は、「再興」と題し、9月に実施した町内での職場体験で感じたことについて発表しました。また、小学4年生から中学3年生は、標葉せんだん太鼓保存会の皆さんからご指導をいただいた、せんだん太鼓を披露するなど、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

―市町村対抗ソフトボール大会―

10月21日、相馬市の相馬光陽ソフトボール場において、「第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会」が開催されました。双葉町チームは須賀川市チームと対戦しました。残念ながら初戦敗退となりましたが、選手の皆さんは最後まで粘り強くプレーされていました。

―企業立地協定締結式―

10月31日、中野地区復興産業拠点へ立地する大和ライフネクスト株式会社と企業立地協定締結式を行いました。これによりまして、合計21件の立地協定締結となりました。

―町表彰式―

11月3日、双葉町役場庁舎において「双葉町表彰式」を開催いたしました。式では、永年勤続表彰

として2名の方、感謝状として2団体及び2名の方を表彰し、表彰状と記念品をお贈りしました。

表彰を受けられた方々には、これまで地方自治行政の進展や消防活動、並びに双葉町民への支援に貢献されましたことに対して、心から感謝の意を申し上げるとともに、双葉町の復旧・復興に向けた諸課題への対応に、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。

―双葉郡戦没者追悼式―

11月8日、双葉町産業交流センターにおいて、「双葉郡戦没者追悼式」が開催されました。先の大戦でお亡くなりになられた双葉郡の2,400余柱に対し、ご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の生活の安寧と世界の恒久平和を願いました。

―クマの目撃情報―

11月8日の朝、新山字蓬田地区の旧双葉町役場庁舎の北東側にある町道を、親子のクマとみられる2頭が横断するのを除草作業中の作業員が目撃しました。

これを受けて、警察によるパトカーでの警戒活動や注意喚起を行い、町では防災無線での放送を行うとともに、町公式ホームページ



による注意喚起などを行っております。

その後、目撃情報は寄せられていませんが、引き続き町民の皆さんには、外出の際には十分ご注意ください。また、町内でクマを目撃された場合は、警察または町役場まで一報いただきまますよう重ねてお願いいたします。

―勿来地区総合芸能祭―

11月12日、いわき市勿来市民会館において、勿来地区文化協会主催による「勿来地区総合芸能祭」が開催され、双葉町からは「コーラスふたば」、「標葉せんだん太鼓保存会」、「JASマイル大正琴」、「双葉町民謡同好会」の4団体の皆さんが出演し、勿来地区の皆さんとの文化交流を図りました。

―ふくしま駅伝―

11月19日、「第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」が開催されました。白河市総合運動公園から福島県庁までの96.3km16区間で健脚を競いました。

双葉町選手団は、大会前に2回にわたる合宿を行い、チームワークを高め、心一つにし、4年ぶりの大会に臨み、最後まで完走しました。選手の頑張りは、町民の皆さんに、元氣と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援いただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

―オンライン服薬指導実証事業―

11月21日から、双葉町診療所においてオンライン服薬指導実証事業を始めました。これは、町診療所で医師の診察を受けた患者が専用端末を通じて薬剤師から服薬指導を受け、後日配送で処方薬を自宅で受け取ることができる福島県内で初めての取り組みで、医療環境の充実と町民の利便性向上が期待されており、実証事業は今年度末までの予定で、院外処方の実現に向けた有用性評価と課題抽出を行います。

◆ 百歳賀寿 おめでとうございます ◆

柳沢 ミサヲさん(新山)が11月24日にめでたく満百歳を迎えられました。



●●●●●● ハッピーロードネット清掃活動 ●●●●●●

11月18日、NPO法人ハッピーロードネット(西本由美子理事長)による「みんなでやっぺ!!きれいな6国」が双葉町を会場に行われました。青空の下、福島県立ふたば未来学園中学校バドミントン部の生徒や町内の企業関係者、町職員など約350人が6班に分かれ、双葉町内の国道6号沿いの清掃活動を行いました。

伊澤史朗町長も参加し、開会式であいさつを行ったあと、生徒たちとともに双葉厚生病院入口交差点から牛踏交差点までを往復し、ごみ拾いを行いました。



第3回学校設置検討委員会

11月29日、双葉町いわき支所において第3回双葉町学校設置検討委員会(大塚類委員長)が開催されました。

委員会では、町内に整備する学校の候補地や、新設する施設の規模や機能などの議論のほか、学齢期の子どもを持つ町民に対し、アンケートを実施することなどについて話し合いが行われました。



新山行政区定期総会・懇親会のお知らせ

- ◇開催日時：3月24日(日)
- ◇開催場所：小名浜オーシャンホテル(いわき市)
- ◇開始時間：①総会15時～
②懇親会18時30分～
- ◇宿泊費：1泊2日 8,000円(懇親会費含む)
- ◇懇親会参加費：4,000円(懇親会のみの方)
- ◇申込締め切り：2月16日(金)

【問い合わせ先】

富澤 政仁(庶務) ☎0246-38-9928

双葉町行政区長会秋季研修報告

11月21日、天候に恵まれ、双葉町行政区長会（木幡敏郎会長）の秋季研修として飯館村長泥地区の環境省除去土壌再生利用実証試験事業並びに相馬市の防災備蓄倉庫を視察しました。

原発事故の影響で、自然豊かな長泥地区が荒廃することに地元住民が危機感を感じ、環境再生事業を受け入れたとのことで、山間部にある34haの農地を放射能が低い5000Bq以下の土壌で盛土し、新たな土を50cm被せ広大な農地を造成するという事業です。中間貯蔵施設に仮置き中の土壌の75%を再生使用することで、県外で最終処分する土壌を低減するための実証試験で、これまで260億円を投じ今後も造成が続くとのことです。

農地は、作物の安全性や水田機能を考慮して水稻栽培のほか大根、キャベツ等の野菜、トルコキキョウ等の花きも試験的に栽培しており、放射性セシウムの濃度は基準値を下回っているとの説明がありました。中間貯蔵施設を受け入れている当町としましては、2045年までに県外最終処分するという国の約束事は復興に大きく関わってきますが、過日、首都圏での再生利用計画に反対意見が多かったとの報道もあり、国による安全性のPRが住民に浸透していないと感じました。実証試験事業を見学した高校生、一般の方々より、「データを見て汚染の少ない土壌は再使用が可能だと感じた」、「関心がない人へ積極的に発信したらどうか」等の声もあり、科学的な実証データによる情報発信が足りないと感じました。

相馬市の防災備蓄倉庫は、東日本大震災を教訓にあってはならない災害から相馬市民が3日間程度避難生活を続けられるよう水、食料、寝具などを備蓄しており、有効期限のある食料品は廃棄処分せずにイベント、団体活動等に有効活用しているとのことです。住民の数が見えない当町ではありますが、災害に備え身の丈にあった備蓄倉庫の重要性を感じました。たいへん有意義な研修となりました。

双葉町行政区長会（山田区長） 箭内 充

● 視察の様子



水田試験エリア



花き（トルコキキョウ）の栽培



相馬市防災備蓄倉庫内部



～教育長メッセージ～

2024年 夢と希望のある「学び」へ

明けましておめでとうございます。辰年という事もあってか、双葉町における日の出が、例年に増して力強く、そして勢い良く昇って見えたのは私だけでしょうか。

子どもたちはもちろん、保護者の皆さま、町民の皆さまにおかれましては、穏やかなお正月をお迎えしていることと推察申し上げます。

さて、新しいまちづくりが、一昨年の一部避難指示解除を受けて、さらにスピード感を持って目に見える形で進められております。町内での学校の設置についても、先般より広報してまいりましたが、「双葉町学校設置検討委員会」は、現在、第3回まで検討を進めてきました。保護者の皆さまはもとより、広く町民の皆さまからも意見をいただくためアンケートを実施しているところです。今後とも、町立学校の教育環境の充実に努めるとともに、町民の子どもたちが安全・安心で楽しく学校生活を送れ、自己実現が叶うよう支援してまいりたいと思います。

また、生涯学習として各自治会や婦人学級、さらには芸術文化・伝統芸能活動団体において熱心に学習・活動されている皆さまにとって夢と希望のある「学び」が実現できるよう物心両面にわたりサポートしてまいりますので本年もよろしくお願い申し上げます。

●【第3回双葉町学校設置検討委員会】 11月29日

双葉町学校設置検討委員会も第3回を終え、いろいろな方向性をまとめていただいております。最終決議は、町長が主宰する「総合教育会議」となります。令和5年度中には、教育基本構想をお示しできるよう検討を重ねてまいります。

教育部会や、行政部会といった専門部局によるワーキンググループを開催して、それぞれに多くの意見を集約し以下の検討課題事項に対する方向性をまとめてもらっております。①敷地の選定 ②児童生徒数の想定 ③0歳から15歳までの学びの場 ④保育機能の整備 ⑤学校の検討課題 ⑥地域と共創する学校

そしてアンケート内容についても子どもがいる世帯や町民を含め町の関係者、パブリックコメントなども視野に入れながら検討いたしました。



●【双葉郡教育復興ビジョン第10回ふるさと創造学サミット】 12月2日

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校において、4年ぶりに子どもたちが一堂に会して開催することができました。サミットスローガンは「～伝え合い、つながって、広がるふるさとふたばの学び～」町村や校種を越えて学び合い、多様な見方・考え方にふれることで視野を広げることを目的に取り組んでおります。国からも平木大作復興副大臣、安江伸夫文部科学大臣政務官、そして福島県教育委員会の大沼博文教育長に視察していただきました。児童・生徒の皆さんは、自分の町・村について「復興の様子、課題は何か、こんな町・村になってほしい」等のテーマで、熱心に意見交換をしました。小学生が高校生に質問する場面もあり、双葉郡のふるさと創造学は、全国でも類のない広域の少人数学級の子どもたちが集い特色ある深い学びができていると思います。今後は、全国に発信して特色ある学びの情報交換ができれば、さらに素晴らしい教育効果が期待できると考えます。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫



おめでとうございます



今年度、満20歳を迎える方に向けて、はたちを祝う会実行委員長の志賀さんからメッセージをいただきました。

成人として責任ある行動を

はたちを祝う会実行委員長 志賀 弘崇（鴻草）



東日本大震災から12年が経ち、家族をはじめ多くの方々に支えられ、この日を迎えられた事を心から感謝しています。

震災当時、私は小学1年生でした。学校生活に慣れて来た頃、東日本大震災と原発事故によってそれまでの日常が大きく変わりました。仲が良かった友人たちと離れ離れになり、知らない地で新しい生活を始めなくてはならない状況に、とても不安だった事を今でも鮮明に覚えています。そのような中で私たちへ心を寄せてくださる方々のご支援に励まされ、少しずつ前へ進む事ができました。

現在は一時立入りで、私が通っていた児童館や小学校、保育園、海を訪れ、当時の思い出を懐かしく思うほど時間が経ちましたが、今でも双葉町は私の大切な場所です。

私たちが学校生活を送った最後の学年です。これまでこの式典を開催してくださり、ありがとうございました。この式典を節目とし、これからは私たちが人の役に立つ側になり、成人として責任ある行動をしていきたいと思えます。

双葉町はたちを祝う会

●日時：1月6日（土） 【式典】時間：午前11時～ 場所：双葉町役場

※成人年齢の引き下げに伴い、これまでの成人式に代わって満20歳を迎える方に向けた式典を実施いたします。

※個人情報保護の観点から、対象者の個人名記載は控えさせていただきます。ご了承ください。

第35回 ふくしま駅伝大会

11月19日、第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が開催され、双葉町チームがフルエントリーにより4年ぶりに出場しました。スタート地点の白河市総合運動公園から、福島県庁までの96.3kmを16人の選手が走り抜きました。成績は、総合51位でした。

沿道やテレビなどの中継を通じ、応援していただいた皆さま、ありがとうございました。

試合後に行われた解団式では、来賓によるあいさつや吉田一弘コーチによる講評のほか、選手の皆さんからも大会を終えての感想などリラックスした雰囲気の中で、発表が行われました。



双葉郡ふるさと創造学サミット

12月2日、広野町の福島県立ふたば未来学園において双葉郡ふるさと創造学サミットが行われ、双葉町立小学校の4・5・6年生児童と双葉中学校の生徒が参加しました。

ふるさと創造学サミットは、各校が地域を題材にした学習の成果を共有し交流する場で、今年は4年ぶりに双葉郡8町村の小中高校生が一堂に会して行われました。

小学校では、町内の企業を見学して学んだ町の現状をクイズ形式で発表し、中学校は、職場体験を通じて感じた双葉町の再興に関わる取り組みや想いを発表しました。発表後、参加者がグループに分かれ、意見交換（学びあいセッション）を行いました。

小学校のテーマは「20年後の双葉町に必要なもの」で、JR双葉駅を中心とした地図に必要なものを記入していく形式で、学校や図書館、デパートなどの意見が出ていました。

中学校は、「双葉町の学校に必要なもの」というテーマで、郡内の学校に通う生徒同士が、自分の学校の好きなところ、良いところを発表し、最後に全体で共有しました。



ふたば幼稚園だより

ふたば幼稚園での園児たちの日常の様子をお知らせします。



どんぐり拾い・木工教室



今年も、森の案内人の方々のご協力のもと、どんぐり拾いに行ってきました。森の案内人の柴田さんお手製の「フィールドビンゴ」を手に、木の実や葉っぱ、音などを探しながら進められます。道を歩きながらどんぐりを探していると、大きいどんぐりがゴロゴロ転がっていて、それを見つけた子どもたちは大興奮でした。森を歩く中で、様々な音が聞こえるたびに「海の音がする！」「何かかわいい鳥がいる！」「ここ、モグラのお家の入り口だって！」とそれぞれに色々な気づきがあり、自然の楽しさを味わうことができました。

12月2日、小学生との交流活動で、学校周辺の公園へ行ってきました。この日は、小学3年生が考えた「しっぽ取り」「花いちもんめ」「だるまさんがころんだ」をみんなで楽しむことができました。幼稚園児にもわかるようにと優しく説明してくれる小学生の話聞き、ゲーム開始です。しっぽ取りでは、鬼から一生懸命に逃げて汗だくになっていました。花いちもんめは、小学生が優しく手をつないでくれることが嬉しくて、みんな笑顔でした。だるまさんがころんだでは、お互いの面白いポーズに笑い合いながら、楽しんでいました。帰り道では色々な話をしながら、楽しく帰りました。

小学1～3年生との交流



文化財調査委員会を開催

11月17日、双葉町役場において令和5年度第2回双葉町文化財調査委員会を開催しました。委員会では、初めに委員の皆さまとともに歴史民俗資料館を視察。また、町内の文化財に係る報告を事務局から受けた後、両竹磨崖仏の覆屋（お堂）の倒壊に伴う対応や、町内に建てられている文化財の案内標柱・案内板の再建・撤去について協議しました。

議 題	委員からの意見・提案
両竹磨崖仏の覆屋（お堂）の倒壊に伴う対応について	※摩崖仏への直接的な被害はなし。 ・倒壊したお堂の撤去及び再建について、関係者と今後の方針について協議する。
町内に建てられている文化財の案内標柱・案内板の再建・撤去	・経年劣化しているものについては撤去する方向で検討する。 ・新しく文化財の案内板を立てるのであれば、二次元コードを掲示して、web上で解説を見られるようにしてはどうか。



歴史民俗資料館の視察



倒壊した両竹の覆屋（お堂）

ふるさと双葉の歴史・文化

第2回 レスキュー資料紹介 — 双葉高校の誕生 —

双葉町教育委員会では、東日本大震災後の平成23年7月から町の歴史に関する資料のレスキューを開始し、平成26年からは個人宅に残された資料のレスキューにも取り組んでいます。

今回紹介する資料は、かつて町内にあった佐々木薬舗よりレスキューした旧制双葉中学校（現双葉高校）の建設作業現場に掲示されていたとみられる「時間表」です。当時の佐々木薬舗の当主が学校建設を援助した経緯で譲り受けたものと伝えられています。

旧制双葉中学校は、大正11年1月11日に建設が開始され、工事期間中の大正12年4月16日には仮校舎で第一回入学式が挙行されました。その後、大正15年6月2日によりやく竣工を迎えました。

この時間表には、1日の作業の流れや工事の際しての心得が書かれています。例えば、開始は午前6時、昼食は午前11時30分、終業は

午後6時など当時の労働環境を知ることのできる重要な情報が記されています。

また、時間表には「大正12年3月16日双葉中學校」と書かれており、第一回入学式のちょうど一カ月前に作られた看板であることもわかります。昨年創立100年を迎えた双葉高校の歴史を伝える貴重な資料と言えるでしょう。

皆様のご自宅にも町の歴史を知るうえで貴重な資料が発見されるのを待っているかもしれません。お気軽にご相談ください。



▲レスキューした旧制双葉中学校建設時の「時間表」（町所蔵）

20歳になったら国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務づけられています。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後の生活を保障するだけでなく、万が一、病気やけがで障がいが残ったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、加入手続きを行いましょ。加入に関する各種手続きは、役場または最寄りの年金事務所へお問い合わせください。

※20歳前に就職して厚生年金に加入中の方は、手続きは不要です。

国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります。

- 老齢基礎年金
- 障害基礎年金
- 遺族基礎年金

※上記年金を受給するためには、それぞれ受給要件があります。

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	20歳以上60歳未満の自営業、農林漁業、学生、無職の方など	会社員、公務員など（厚生年金保険や共済組合の加入者で65歳未満の方）	第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者
保険料	国民年金保険料 定額：16,520円 (令和5年度) 被保険者が負担します。	厚生年金保険料 18.300% (平成29年9月分から) 労使折半で負担します。	被保険者本人は保険料負担を要しません。配偶者の加入している厚生年金の保険者が負担します。

学生納付特例制度について

学生の方は、一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

基礎年金番号通知書（または年金手帳）は大切に保管しましょう。

公的年金制度では、すべての制度に共通して基礎年金番号が用いられています。

国民年金や厚生年金保険に加入すると基礎年金番号が記載された基礎年金番号通知書等が交付されます。

基礎年金番号通知書等は、年金の手続や相談の際に必要となりますので、大切に保管してください。

学生納付特例が承認された期間の年金は、将来の受給資格期間には計算されますが、将来もらえる年金額には反映されません。ただし、10年以内であればさかのぼって納める（追納）ことができます。将来受け取る年金額を増額するためにも、社会人になってから保険料を追納することをおすすめします。なお、学生納付特例制度を利用するためには、申請が必要です。

令和6年度 指名競争入札参加資格審査受付

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加審査資格申請書」を提出する必要があります。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。

今回は令和6年度の1年分の資格審査申請書を受け付けます。

▼受付期間

2月1日(木)から2月29日(木)まで
持参の場合：午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く

▼提出書類

- ・詳細は双葉町の公式ホームページをご確認ください。
- ※申請書はA4ファイルとじとします。
- ※ファイルの色については、(建設工事：グリーン、測量等：イエロー、物品・役務：ピンク)で提出してください。

▼提出場所および提出方法

持参または郵送(締切日必着)のいずれかの方法により双葉町役場総務課へ提出してください。受付票が必要な方は、受付印を押印する書類と返信用封筒、もしくは返信用はがきをご用意ください。(任意様式可。宛先を記入し、必ず郵送料金分の切手を貼付けること)

▼当該資格の有効期間

令和6年6月1日から令和7年5月31日までの1年間有効です。

【問い合わせ先】 総務課 管財係 ☎ 0240-33-0124

双葉町社会福祉協議会

～ 1月 健康運動教室・サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会場	開催日	時間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①毎週水曜日 ②毎週木曜日 のどちらか ※1/3(水)、1/4(木) を除く	13:30～15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター 2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	1月16日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日 ※1/3(水)を除く		南相馬出張所 ☎ 080-5730-1166

● 社協サロン

会場	開催日	時間	問い合わせ・申込先
双葉町産業交流センター大会議室 (双葉町大字中野字高田1-1)	1月18日(木)	10:30～12:00	双葉町地域包括支援センター ☎ 0246-84-6729
郡山市喜久田公民館 (郡山市喜久田町堀之内字下河原1)	1月22日(月)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原313)	1月23日(火)	10:00～11:30	

双葉町の放射線に関する取り組み

双葉町では町民の皆さんの放射線への疑問・お悩みに対応できるように、さまざまな取り組みを行っています。今回は、内部被ばく（ホールボディ・カウンタ）検査についてご紹介します。

内部被ばく検査ではホールボディ・カウンタという機器を使い、体内の放射性物質から出る放射線を数える検査です。検査日時点の体内にある放射性物質（セシウム134、セシウム137など）を測定します。その放射性物質の量から、過去1年間にどれくらいの量の放射性物質を取り込んでいるかを推定し、さらにその推定された量から、大人では今後50年間、子どもでは70歳になるまでの間に受ける内部被ばくの量（預託実効線量）を計算します。なお、この検査により放射線を受けることや痛みを伴うことはありません。

双葉町では一部の総合健診会場にて任意の内部被ばく検査を実施しています。今年度、検査を受けた方は67人で、その内3人は放射性セシウムが検出されました。山で採取した山菜やキノコ、野生の鳥獣などを食べることで一時的に検出されることがあります。体の中の放射性セシウムは、代謝で体外に出ていくため、ずっと体の中に残ることはありません。

気になる方は健康福祉課健康づくり係へお気軽にご相談ください。

参考：ふくしま復興情報ポータルサイト「ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査について」
作成協力：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

郵便局における「避難先届」による転送取り扱い終了のお知らせ

東日本大震災に伴い避難されている方への郵便物等は、郵便局へ「お客様確認シート（避難先届）」を提出することにより、避難先へ転送されることとなっていますが、令和6年2月29日（木）をもって転送取り扱いが終了となります。※「帰還困難区域」は除きます。

「お客様確認シート（避難先届）」による転送取扱い終了後も現在のお住まいに郵便物等をお届けするためには、郵便局に通常の「転居届」をご提出いただく必要があります。

なお、金融機関等からの郵便物など「転送不要」扱いのものについては転送されなくなるため、ご本人から金融機関等へ送付先の変更を依頼してください。

不明な点や問い合わせについては、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 原町郵便局コールセンター ☎0570-943-438

今月の双葉ダルマさん

先日、双葉ダルマさんが福島中央テレビの取材を受けました。コートに帽子、ブーツに着替えて、冬らしい服装で登場したのですが、強風により帽子が飛んで行ってしまったそうです。今年も、皆さんとさまざまな場面でお会いできると思います。怖がらずに近くでお話ししてほしいと願う双葉ダルマさんです。

まずは、1月6日の双葉町ダルマ市にも登場する予定です。当日双葉町まで来れない人も、双葉ダルマさんのSNS（Instagram）で報告しますのでチェックしてくださいね。



冬の装いの双葉ダルマさん



帽子がない…

双葉ダルマさんはインスタやTiktokを随時更新中です。チェックしてね。



インスタ



Tiktok

消防署からのお知らせ



明けましておめでとうございます。
皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



皆さんの住まいは火災対策は大丈夫ですか？

昨年11月に管内の住宅火災において犠牲者が発生しました！普段から火災を起こさない備えが重要です。以下に当てはまるものがあれば早急に改善し、安全安心な1年を過ごしましょう。

- 外出時や就寝前に火の元を確認していない。
- 暖房器具の近くに燃えやすいものがある。
- 燃えるゴミを室内、屋外に大量に置いてある。
- たばこの吸い殻が灰皿に貯まっている。
- 寝たばこをすることがある。
- コンセントにホコリや汚れがある。
- コンセントをたこ足配線している。

住宅火災から身を守るためには・・・
住宅用火災警報器と消火器の設置が
オススメです！



火災の早期発見には
住宅用火災警報器
就寝中でも火災を知ら
せてくれます！



初期消火には消火器
10型消火器1本で水
72L分の消火効果！

※住宅用火災警報器は火災予防条例で寝室や2階以上に寝室がある場合には階段にも設置が義務化されています。種類や取付位置でお悩みの方はお近くの消防署・出張所にご相談ください！

火事と救急は119番 <消防署連絡先> ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・富岡消防署 ☎0240-22-2119



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】ふくしまで働こう@オンライン企業説明会

- お仕事を探している人集合！ 福島県の企業36社程度が集結！仕事の内容、職場環境など気軽に情報収集できます。お仕事相談もできます。
- 移住に興味のある方、どうぞ！ 福島へ帰還を考えている、移住はどうか～と思っている方必見です。補助金や支援制度、地域の情報など盛りだくさん。
- 日 時… 1月19日(金) 13:30～16:30
- 参加方法… オンライン（Zoom使用）電話またはホームページから申し込み
- 締 切… 1月16日(火)



情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか。オンライン初心者も、スマホやパソコンで、簡単に参加可能！ふくしまでお仕事を探している方、ぜひご参加ください！

【求職者向け】行くしかない！！ 就職面接会 in 南相馬

- 【参加無料・履歴書不要・服装自由】面接会が就職への近道♪求人票には載っていない魅力が聞ける！
- ★応募書類キットのプレゼント
- 日 時… 1月26日(金) 13:00～15:00
 - 会 場… 福島ロボットテストフィールド（南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番）
 - 参加企業… 20社（企業の詳細はホームページをご覧ください）
 - 参加方法… 電話、ホームページから予約。または当日参加。入場は予約の方を優先します。予約がおすすめです。詳細はホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口（福島市中町4番20号 みんなゆうビル202号）
☎024-524-2121 FAX 024-524-2125



環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

● 特定帰還居住区域の被災家屋等の解体申請について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域（下長塚行政区、三字行政区のそれぞれの一部）の建物解体の申請を受付けています。解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にご相談ください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請は令和5年8月31日をもって締め切りました。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（令和5年度環境省業務受託業者）

<場 所> いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟（双葉町いわき支所の隣）

<受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）

<連絡先> ☎ 0120-773-275（フリーダイヤル）

中間貯蔵施設について

◇ 中間貯蔵施設見学会について

▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。1月は、19日（金）、20日（土）を予定しています。

見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎ 0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇ 輸送について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

・令和5年度は、24,582 m³ 搬入しています。（平成27年からの累計は3,923,266 m³）

※11月30日現在

◇ 放射線モニタリングについて

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。

（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

全国一斉生活保護相談会

「困難をともに乗り越えよう」

福島県青年司法書士協議会と全国青年司法書士協議会は、生活保護に関する電話相談会を開催します。

● 日 時 1月28日（日） 午前10時から午後6時まで

● 専用電話番号 0120-052-088（フリーダイヤル、当日のみの番号）

※相談は無料です。秘密は厳守します。

【問い合わせ先】 福島県青年司法書士協議会 担当：松本晋平 ☎ 0242-23-8615



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

初午祭開催のお知らせ

前田稲荷神社で恒例の初午祭を開催いたします。

日時 2月11日(日) 午前10時から

場所 前田稲荷神社境内

演目 三字芸能保存会 神楽奉納
前沢の女宝財踊保存会 女宝財踊

問い合わせは 谷津田尊之前田稲荷神社宮司まで
お願いします。

連絡先：080-5552-8411

三字行政区長 伊澤 和夫

【文芸】

俳句・辰連れて 水平線に 初日の出
健康を 宝に思う 初日の出
川柳・日に一度 忙しくても 鏡みる
・めがねかけ 眼鏡をさがす 春うらら
里謡・祝い料理を 亡夫亡息子に供い
朝餉の膳に年としあらた新
今泉 禮子(長塚二)

県南双樹会美化運動

11月10日、お世話になっている白河市の「白河関の森公園」の美化運動として、落ち葉集めを行いました。曇っていたため空模様を確認しながら作業を行い、ビニール袋に入れて2台の軽トラックに載せました。落ち葉は、たい肥にするため畑作業を行っている双葉町民の家に運びました。

雨が降り出したので作業を止めて、集合写真を撮影し「農村レストラン白河」にて昼食のそばを食べて解散しました。次年度も体の許す限り公園の美化運動を開催したいと思います。

会長 舘林 孝男



人のうごき11月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
木幡 桜羽	10月28日	昌也・友紀恵	長塚二
津島 壮吾	11月3日	慶吾・加奈子	三字

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
天野 ハル	82	10月30日	三字
若林 正清	79	11月8日	下条
岸 美代子	88	11月15日	新山
橋本美紀子	86	11月23日	長塚一
林 秀雄	59	11月19日	山田

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課

☎ 0240-33-0125

双葉町民の避難状況 (令和5年12月1日現在)

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

- ・福島県内に避難されている方 3,857人
- ・福島県外に避難されている方 2,696人

今月のベストスマイル



ふくしま駅伝のゴール地点で、写真左から選手として完走した佐藤奈月さん、美月さんとサポーターとして参加したお母さんの幸子さんの笑顔です。

編集後記

表紙の写真撮影に、J A 福島さくら女性部双葉支部の双葉ダルマ制作の現場にお邪魔しました。当日はメンバー6人が全員そろい、賑やかに、真剣にダルマの絵付けをされていました。大小さまざまなダルマが並ぶ現場は圧巻でした。1月6日、7日の双葉町ダルマ市で皆さんの手に取っていただけるように、年の瀬まで作業が続きます。

辰年の年男、年女の皆さんに書いていただいた抱負は、これまでを振り返り、新しい年に向けた言葉が寄せられ、自分が毎年ぼんやりと年越しを過ごしてきたことを自覚するとともに、自然と前向きな気持ちになりました。

辰年の辰は干支の中で唯一実在しない生き物で、龍が持つ力強さや成功を表す縁起の良い年だそうです。皆さんが良い年を過ごされますように。本年もどうぞよろしくお願いたします。



連絡先

- **双葉町役場 本庁舎**
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ 0240-33-2111
FAX 0240-33-2115
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **いわき支所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ iwaki@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **南相馬連絡所** (午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分)
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- **つくば連絡所** (月・火・水 午前9時～午後5時)
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

- **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
- **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

- **双葉町産業交流センター公式ホームページ**
<https://www.f-bicc.jp/>
- **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>

